

京都府総合評価競争入札委員会（平成28年度第1回） 議事概要

開催日時及び場所	平成28年6月10日（金） 午後3時～4時15分 ルビノ京都堀川 アムール	
出席委員氏名（職業）	委員長 谷口 栄一（京都大学名誉教授） 委員 武田 字浦（明石工業高等専門学校都市システム工学科准教授） 委員 今西 秀樹（国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所副所長）	
議 事 概 要	<p>1 開会あいさつ（大石建設交通部理事） ※今西委員を委員長代理に選出</p> <p>2 議 事</p> <p>（1）平成27年度総合評価競争入札（簡易型）の試行状況等について ・平成27年度総合評価競争入札（簡易型）における試行状況等について意見を聴取</p> <p>（2）平成28年度総合評価競争入札落札者決定基準の見直しについて ・平成28年度総合評価競争入札落札者決定基準を承認</p> <p>（3）平成27年度抽出事案報告について〔非公開〕 ・平成27年度における総合評価競争入札（簡易型）試行案件のうち3件を抽出し、実施状況を報告</p>	
委員からの意見・質問 とそれに対する回答等	意見・質問	回 答 等
	別紙のとおり	別紙のとおり

別 紙

(1) 平成27年度総合評価競争入札（簡易型）の試行状況等について

意見・質問	回 答 等
<p>◇履行状況において、全工事成績点平均より総合評価案件の工事成績平均点が高くなっているのは、良い傾向であるとの理解でよいか。</p> <p>◇加算点が15点というのは、総合評価競争入札制度を導入した当時からか。</p> <p>◇昨年度入札を実施した標準型の案件は既に工事を実施しているのか。</p> <p>◇例年標準型の発注は1件程度か。</p>	<p>◇総合評価競争入札については、品確法等に基づいて実施しているが、工事の品質の指標の一つとして工事成績を重視しています。工事成績が高いことは、工事目的物を含めた工事の品質が高いことであり、総合評価競争入札の効果が反映されている結果であると考えています。</p> <p>◇京都府においては、総合評価競争入札を導入した当初から、加算点の最高点を15点として運用しています。</p> <p>◇契約を締結し、現在、現地作業に向けた調整をしているところです。</p> <p>◇標準型については、施工管理等の工夫の余地が大きい大型工事で適用することとしており、例年数件が対象となります。</p>

(2) 平成28年度総合評価競争入札落札者決定基準の見直しについて

意見・質問	回 答 等
<p>◇雇用技術者数はどのようにして把握しているのか。</p> <p>◇統一的な、技術者数の基準日は決めていないのか。</p> <p>◇新規参入する会社の技術者数の雇用に関する項目は評価外になるのか。</p> <p>◇「技術職員数」の維持項目で、0.7点になる見込み対象業者数は。</p> <p>◇平成28年度総合評価競争入札落札者決定基準については承認。</p>	<p>◇各社が毎年受けている経営事項審査の結果で把握しています。</p> <p>◇経営事項審査については、それぞれの会社の決算日が基準日とされており、統一的な基準日における技術者数という訳ではありませんが、入札参加資格認定の前年度の11月1日を基準日として、その時点で有効な経営事項審査の結果を採用しています。</p> <p>◇新規の業者が総合評価の入札に参加できるランクに達するためには、最低4年を要することから、入札参加する者は3年前の技術者数のデータを有しています。</p> <p>◇現在の土木一式で入札参加資格を有する業者のうち、0.5点の加点対象は約510者ですが、全体の約6割以上の業者の配点が高くなると見込まれます。 業界からも、技術者数の維持・増加に努力している企業を評価して欲しいとの要望もあり、今回の改正で、努力している企業に対して、適正な評価ができるものと考えております。</p>